

学校だより「はつやま」

㊦㊦ はつらつとした子 (きらきら) ㊦ やさしい子 (ほかほか) ㊦ まなぶ子 (ぐんぐん)
令和5年11月24日 第50号 巻岐市立初山小学校 文責：校長 野間 恭介

校内での研修を推進しています！

本校は「よい授業」の実践を目指し、今年度も算数科の学習に焦点を当て授業改善を行っています。今回は、10月に1年生において研究授業を実施し、研修を行いました。

今回は、11月17日（金）に3・4年生の複式学級において研究授業を行いました。

3年生は「数の表し方やしくみを調べよう」で、目標は「小数の仕組みに着目し、小数第1位どうしの減法計算の仕方を理解し、答えを求め説明することができる。」です。4年生は「四角形の特ちょうを調べよう」で、目標は「平行四辺形のかき方を平行四辺形の性質に着目して考えることで理解する。」です。具体的には、3年生は「 $0.5 - 0.2$ 」の計算を「0.1の何個分」という考え方で答えを求めていく学習で、4年生は平行の性質を生かして平行四辺形をかく学習です。このような授業実践を通して、「主体的に考えを表現できる子供」を育てていきます。

3、4年生は、それぞれの課題に対して見通しを立てて、主体的に一人調べに取り組んでいました。そして、しっかりと自分の考えを発表したり友達の発表に反応したりすることができました。着実に「主体的に考えを表現できる子供」に育ってきていることを感じました。

3学期には、2年生の研究授業を行い、子供たちの生きる力を育てていきます。



原子力災害に対する避難訓練

11月21日（火）に、「原子力災害に対する避難訓練」を実施しました。

目的は、「原子力災害が起こったとき、安全に避難する方法を学ぶ」ことでした。

原子力災害に対する避難の仕方について事前指導を行ったうえで、訓練を実施しました。子供たちは、指導を受けたことをしっかりと実行することができました。避難後は、保護者への引き渡しを想定した訓練も行いました。みんな落ち着いて行動することができました。

訓練後の講話では、子供たちに以下のような話をしました。

今回は「佐賀県にある玄海原子力発電所で事故が起こった」ということを想定した「原子力災害に対する避難訓練」でした。

原子力災害については増田先生からくわしくお話がありましたね。

どうして避難をしなければいけないのでしょうか。どのような被害があるのでしょうか。

みなさんは原子爆弾のことは知っていますね。強烈な熱線と爆風、それと放射線による被ばくでたくさんの方が亡くなりました。その放射線による被ばくが原子力発電所の事故でも起こる可能性があるということなのです。被ばくをしてしまうと命に関わることもあります。

そのような被害にあわないために、今回、避難の仕方について訓練を行いました。

今日の訓練をしっかりとふり返ってみてください。そして、これからも「自分の命は自分で守る」行動がとれるようにしていきましょう。